

NPOバイオものづくり中部

平成28年度 第1回環境分科会「これからのバイオマス発電の方向」

近年、急速にバイオマスを活用した発電が進んでいます。バイオマスの種類、規模の大小、解決すべき課題、将来性のある新しい技術、実際に行われている事例などの情報を、お届けいたします。これらを通して、バイオマスがうまく利活用され、循環型社会の構築が促進されますようお願いしております。

【日時】 平成28年12月7日(水) 13:30～16:40 (受付13:00)

【場所】 名古屋駅前イノベーションハブ(ウインクあいち 15階)

(名古屋市中村区名駅4-4-38)

<アクセス> <http://www.winc-aichi.jp/access/>

【主催】 NPOバイオものづくり中部(電話052-203-2053)

【後援】 環境パートナーシップ・CLUB

【参加費】 無料

講演内容(進行;豊島紀彦 NPOバイオものづくり中部アドバイザー)

13:30～14:30 講演 I バイオマス発電の今後の方向性について・・・

(バイオマス発電ありきではない考え方)

大門 裕之 氏(豊橋技術科学大学 教授)

(質疑応答10分)

14:40～15:10 講演 II 事例① 横根バイオガス発電施設について

オオブユニティ株式会社 課長 藤崎 功太郎 氏

(質疑応答10分)

15:20～15:30 休憩

15:30～16:20 講演 III 事例② 豊橋の豚糞発電事例

[A] 豚糞を原料としたバイオマス発電・わが社の実績紹介

ゼネック株式会社 社長 堀江 友理 氏 (15:30～15:40)

[B] 豚糞バイオマス発電について

愛知電機株式会社 電力事業部 主査 糸数 普康 氏 (15:40～15:50)

[C] メタン発酵の一つの成功例とその秘訣について

熱田 洋一 氏(豊橋技術科学大学 特任准教授) (15:50～16:20)

(質疑応答10分)

16:30～16:40 名刺交換会、意見交換、技術相談など

【申し込み先、連絡先】

NPOバイオものづくり中部事務局 担当:上井

TEL&FAX : 052-203-2053 E-mail : support@bioface.or.jp

※会場準備の都合上、御社名、ご役職、ご氏名、メールアドレスをご記入の上、12月2日までに E-mail : support@bioface.or.jp までお申込みください。